

2024年4月3日
損害保険ジャパン株式会社

「空飛ぶクルマ事業者専用賠償責任保険」の開発と販売開始 ～「100年に一度のMobility革命」の実現へ～

損害保険ジャパン株式会社（代表取締役社長：石川 耕治、以下「損保ジャパン」）は、空飛ぶクルマ※産業の成長への貢献を目指して、「空飛ぶクルマ事業者専用賠償責任保険」を開発し、販売を開始しました。

※世界的には「eVTOL (electric Vertical Take-off and Landing: 垂直離発着機)」と呼ばれ、「航空機」に分類されます。
①垂直離発着が可能で滑走路が不要、②電動化、③将来的な操縦の自動化等が特徴としてあげられます。ヘリコプターに比べて電動化による製造コスト・運用コストの低減が期待でき、今後の世界的普及が期待されています。

1. 背景

「100年に一度のMobility革命」とも言われる空飛ぶクルマの事業化は、広大な「空」を活用することで、地上交通インフラの影響を受けないという特長を活かし、戦後の自動車の普及（モータリゼーション）と同様に全く新しい社会を生み出し、多くの社会課題を解決するポテンシャルを秘めています。

【損保ジャパンの空飛ぶクルマに関する主な取組み】

- ・ 空の移動革命に向けた官民協議会に参画し、地方自治体とプロジェクトで連携
- ・ 有望スタートアップメーカーである株式会社 SkyDrive に出資し、包括的な業務提携
- ・ 岡山県倉敷市の航空・自動車関連企業などで組織する「MASC (マスク)」が大分市で行った空飛ぶクルマの試験飛行用に機体保険を開発・提供し、国内での空飛ぶクルマの安定した保険制度づくり
- ・ 2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）に向け丸紅株式会社が実施する実証実験でも協賛・協力会社としてリスクアセスメントを実施



一方、空飛ぶクルマの国内における社会実装と普及にはいまだ多くの課題があり、事業者が抱えるリスクが、機体の運行リスクだけでなく、機体製造やポート管理に関わる賠償責任等多岐にわたることもその一つです。

損保ジャパンは、保険事業とその先にある安心・安全・健康の領域で、お客さまにとって価値ある商品・サービスを創造し、社会に貢献していくことをミッションに掲げ、これまでも保険事業と親和性の高い防災・減災、各種モビリティ分野への参入や社会実装に向けた取組みを続けてきました。

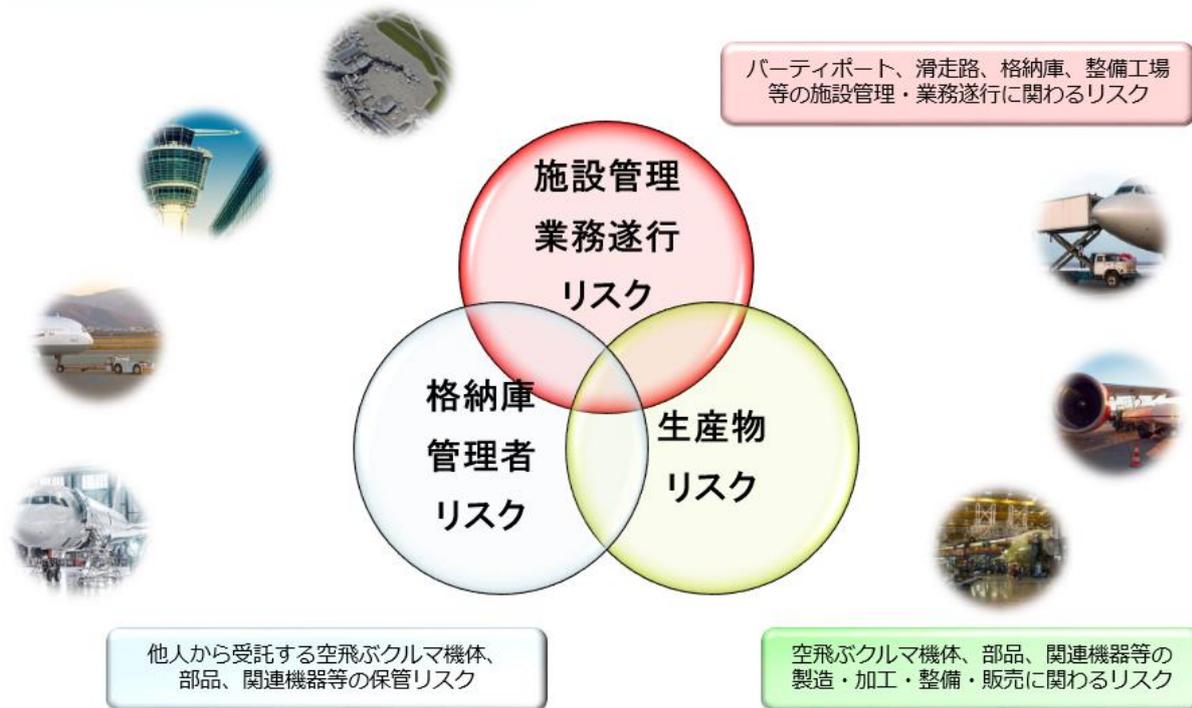
空飛ぶクルマ事業への参入に挑戦する事業者が抱えるリスクを幅広くサポートすることで事業化を促進し、社会課題を解決し得る新しいモビリティ社会の発展に貢献することは、そのミッション実現につながると考え、空飛ぶクルマ事業者の賠償リスクを包括的にカバーする「空飛ぶクルマ事業者専用賠償責任保険」を開発し、販売を開始しました。本商品固有の海外の再保険会社との再保険スキームを新たに構築することで、参入事業者を安定的かつ長期的にサポートできる保険制度としています。

2. 商品の概要

機体、部品、その他関連機器等の製造・加工・整備・販売に関わる製造物責任やパーティポートの管理運営に関わる賠償責任等を包括的に補償します。

項目	内容
対象となる主な業種	機体、部品、その他関連機器などの製造加工メーカー、修理業者、販売商社、格納庫管理者、パーティポートの管理・運営業者など
補償概要	<p>【生産物リスク】</p> <p>機体の一部または機体に関連し、被保険者が製造・修理・提供・販売・供給などした製品や仕事の結果に起因して発生した事故が原因となり、第三者に身体障害・財物損壊を生じさせたために、被保険者が法律上の損害賠償責任を負担する場合に被る損害を補償します。</p> <p>【施設管理・業務遂行リスク】</p> <p>被保険者がパーティポート敷地内外の施設の使用・管理あるいは各種業務遂行に起因して発生した偶然な事故により、第三者に身体障害または財物損壊を生じさせ、法律上の損害賠償責任を負担することによって被る損害を補償します。</p> <p>【格納庫管理者リスク】</p> <p>格納庫またはタイダウンスペース（機体固定スポット）で保管・管理・整備等をするために受託した他人の機体等の損壊について、被保険者が法律上の損害賠償金を負担することによって被る損害を補償します。</p>
補償される損害と費用	<p>① 損害賠償金</p> <p>身体障害：治療費、入院費、慰謝料、休業補償など</p> <p>財物損壊：損害が生じた財物の修理費、再調達に要する費用など</p> <p>② 争訟費用</p> <p>訴訟・和解等のために支出する弁護士費用等の費用</p>

空飛ぶクルマ事業者専用賠償責任保険



※機体の運行リスクを補償する保険は、2023年2月に販売し、引受を開始しています。

3. 今後について

損保ジャパンは、「空飛ぶクルマ事業者専用賠償責任保険」の提供を通じて、新しいモビリティ社会の発展に貢献するとともに、今後も多くの企業と連携していくことで、事業化に関連するリスクへの知見を高め、保険と事故防止の両面で高い顧客サービスを実現し、空飛ぶクルマの安心・安全な社会実装を支援していきます。

また、「お客さまの安心・安全・健康に資する最高品質のサービスをご提供し、社会に貢献」というグループ経営理念の実現に向け、ブランドスローガン「Innovation for Wellbeing」に即した商品の開発を通じ、今後も社会の健全な発展に資する新たな保険・サービスの提供により、サステナブルな社会の実現に貢献していきます。

以上